



**トッキーの  
市政トーク**

四日市市長  
田中 俊行

皆さん、こんにちは！トッキーこと、市長の田中俊行です。

4月1日から新年度がスタートしました。フレッシュな新入職員も迎え、職員一同、気を引き締めて業務に精励する決意を新たにしています。

そこで今回は、よく聞かれるんですが、「市長って、日ごろどんな仕事をしているの？」という質問に、あらためてお答えしたいと思います。私の仕事は、大きく分けて次の5つです。

**平成28年度がスタート**

①判断業務

産業振興・環境対策・子育て支援・教育・福祉対策・防災・文化・スポーツなど、あらゆる分野の業務について、会議などを通じて課題を把握し、解決方法の最終的な判断をします。

②営業活動

市の代表として、国に要望活動を行ったり、市内外の行事やイベントに出席したり、あるいは、本市の魅力が強力にアピールしたりする、対外的な営業活動をします。

③議会との議論

より良い政策や施策を目指して、議員の皆さんと議論を重ねます。

④新たな政策の企画・立案

⑤デスクワーク（実務）など、365日、土・日も関係なく仕事が山積しています。

このように、多忙な日々ではありますが、新年度は、ハードスケジュールの合い間を縫って、できる限り現場に出かけて、市民の皆さんの生の声をお聴きしたいと思います。



東海市長会（愛知・岐阜・三重・静岡の96市）の会長として挨拶

**ASEAN環境フォーラムin三重**

先日、ASEAN各国の大使の方々が参加して、「ASEAN環境フォーラムin三重」が、本市で開催されました。

当日は、「ASEAN諸国における持続可能な経済発展」をテーマに、経済発展や環境問題などについて活発な議論が行われ、各国からは日本からの経済協力の強化や環境技術での協力を期待する意見が多く出されました。

一方、経済と環境を両立するまちづくりを進めてきた本市の取り組みを紹介するため、「四日市公害と



講師の毛利衛さん（宇宙飛行士）と歓談

環境未来館」を視察していただき、私からは、環境面での国際協力を提案したところです。

このフォーラムを契機に、多方面での交流につながればと願っています。

**三滝川慈善橋市場がグランドオープン**

「四日市」という地名の由来でもとも言われている「市」。皆さんは、市内で12の定期市が開催されていることをご存じですか。

中でも三滝川慈善橋市場は、94年の歴史を誇る市内最大の定期市です。三滝川改修のため、存続が危ぶまれましたが、多くの関係者のご努力により、元の堤防上に建物が再建され、このほど、グランドオープンしました。市としても、河川管理者の県と再生に向けて協議を続けてきただけに、私も感無量の思いです。

定期市の魅力は、なんと言っても昔ながらの対面販売です。当日も、多くの方がお店の人との会話を楽しみながら、採れたての野菜やまぐろの刺身などを買い求めていました。私は好物の三色だんごを買いましたが、皆さんも、ぜひお出かけください。



多くの買い物客で賑わう市場

ト  
ピ  
ッ  
ク  
ス

有料広告掲載欄

建設職人なら誰でも入れる組合です



**建労** 四日市支部

随時加入者  
募集中

**三建国保**

組合独自の  
建設労働者の  
健康保険

出産育児一時金（42万円）  
葬祭費（本人10万円・家族7万円）  
高額療養費、無料健康診断の開催  
人間ドックに対する補助（3万3千円）  
脳ドックに対する補助（2万円）など

三重県建設労働組合四日市支部 四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■人口 312,261人 [2月末日現在(前年比-286)] ■火災件数 10件 [2月分(前年比+2)] ■交通事故件数 873件 [2月分]

「広報よっかいち」は再生紙と植物油インキを使用しています。不要になったらリサイクルへ

UD FONT

豊やすいエンターナル  
チカラフォントを  
採用しています。

印刷 水戸印刷株式会社